

カンボジアについて紹介するケさん（前列右）ら
研修生＝4日、糸満市の県平和祈念資料館



平和への願い込め写真展

【糸満】県平和祈念資料館で
沖縄戦関連の収蔵品の保管や展

読んでる
学べ
NIE

カンボジア人研修員 4人

示の方法、平和教育について学
んでいたカンボジアの国立トウ
ル・スレン虐殺博物館の研修員
4人による写真展が4日、県平和
祈念資料館で始まった。197
5年から79年のポル・ポト政権下
で起きた約300万人に及ぶ住
民虐殺の歴史に加え、カンボジ
アの文化などを写真、絵画など
で伝えている。21日まで。

ン・ニサイさん。10月から祈念資
料館と国際協力機構（JIC
A）沖縄国際センターが進める沖
縄・カンボジア「平和博物館」
協力事業の研修生として学び、
4日は研修会閉講式もあった。

協力事業は2009年度から
3年計画で始まり、本年度は最
終年度。来年3月はカンボジア
で、初の合同企画展「2つの平和博
物館の平和の創造展」も開催予定。
研修生を代表してケさんは「歴
史や資料を後世に伝えていくこ
とは非常に重要。戦争を嫌い、
平和を愛する気持ちを発信してい
きたい」と語った。

来年、沖縄との合同展も

4人はスレン虐殺博物館の館
長ケ・ソパンナカさんとブン・
カンさん、ファル・クンさん、ハ

来年、沖縄との合同展も